

若手研究者コラムリレー

朝倉 雅史 (あさくら まさし)



プロフィール

早稲田大学グローバルエデュケーションセンター 講師
日本体育学会の専門領域: 体育経営管理

東京都生まれ

2003年北海道教育大学岩見沢校 卒業

2014年筑波大学大学院人間総合科学研究科単位取得退学 博士(体育科学)

日本体育学会では若手研究者委員会の庶務、理事会の幹事をしています。

(会議の調整をしたり、議事録を取ったり、交通費を計算したりしています)

「若手の会」世話人の一員です。よろしくお願いします。

E-mail: asakura@aoni.waseda.jp



「若手の会」の一階先生

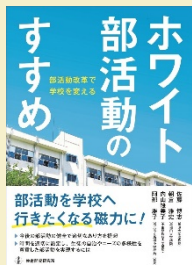
第69回大会の情報交換会@徳島

阿波踊りを踊る私

わたしの研究

体育とスポーツに関わる人と組織が成長・発展するためには！？

- ・「暴力、事故、差別、貧困、過熱化…など、体育・スポーツに関わる人と組織の問題が後を絶たないけど、昔から同じ問題ばかりで、変わらないなあ」というのが、私の問題意識です。
- ・そもそも人や組織が『変わる』なんて、そう簡単なことではないので「どうしたら、良い方向に向かって変われるのか?」ということを研究しています。もちろん「良い方向ってなんだ?」も含めて。
- ・大学院時代は、学校体育を担う保健体育の先生が信じていること(信念)が、強くなったり、弱くなったりする経験を調べて、良質な経験が生まれやすい場や機会が、どうやって作れるのか研究しました。
- ・最近では、様々な体育・スポーツ組織でよく見られる「スポーツをする人→スポーツを教える人→スポーツ経営管理する人」というキャリアの是非について考えています。
- ・部活動、地域スポーツ、大学スポーツ、学校教育全般などについても、他領域、他学問分野の人を交えた共同研究をしています。



わたしの渾身の論文・書籍・記事

朝倉雅史. 体育教師の学びと成長-信念と経験の相互影響関係に関する実証研究-. 学文社. 2016.
佐藤博志・朝倉雅史・内山絵美子・阿部雅子. ホワイト部活動のすすめ-部活動で学校を改革する-. 教育開発研究所. 2019.5月刊行予定



(なんでも帳)

◆こんにちは！！Vol.3担当の朝倉です！

最近、「若手」ってなんだ?と悩んでいます。わざわざ「若手」って呼ぶわけだから意味があると思うんですが。チャレンジができる特権?将来を担う使命?力不足の未熟さ? いろいろ考えますが、なかなか胸にストンと落ちません。特に体育学研究者の「若手」であるとは?

◆そこで、若手の会でやりたいこと…

①合宿研究会がしたい！

とても規模の大きなこの体育学会で、若手が何を研究したり、どんなことを考えているのかを知りたいです。同じ若手でも、どんな違いがあるのか、何が似ているのか、じっくり「若手同士」で話してみたい！

②大学生・高校生・中学生と交流したい！

若手の仲間だけでなく、スポーツ・体育・健康を学んだり、研究したりすることの意味や面白さについて、もっと若い世代と交流すると凄いい化学反応が起こるのでは。ということで「未来の若手」と話してみたい！

③ベテランと議論したい！

「気持ちちは若手」の大先輩と議論する機会はあるようで無いと思います。若手の意味を考えるためには、とても有意義ではないでしょうか。ということで「過去の若手」と話してみたい！※一部表現に失礼がありますが、ご容赦ください。

◆是非、皆さんの考えていることや、やりたいことも聞かせてください！

次回のコラムリレーは、
明星大学の「田中愛」さんを予定しています。

日本体育学会若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育学会若手の会が発足しました！

→メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taikugakkaiwakate@gmail.com (担当: 木村、田中)

